

家族のように寄り添い 支え合うまちづくり

愛知県東郷町 特定非営利活動法人ノーマCafe





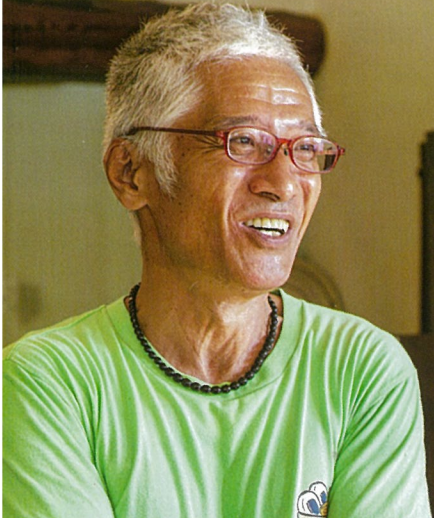


名古屋市の中心部から地下鉄に乗ること約30分、日進駅で電車を降りる。新しいマンションや住宅が立ち並ぶ街並みのなか、起伏に富んだ道を進むと東郷町に入り、谷戸の里山を望む住宅地の一角に白壁と煙突の瀟洒な建物が見えてくる。中に入ると籐の椅子が並んだ素敵なカフェの装いだ。

特定非営利活動法人ノーマCafe（理事長・織田英嗣さん）は、喫茶店の居抜きとなるこの建物を拠点に令和4年9月から「東郷食守族」をスタートし、手作り弁当の製造・配達と同時に見守り活動を行っている。また、店舗の広い空間を活かして、住民同士の交流や学びや相談が常時できる場「まちづくりカフェ」にも取り組む。一風変わった「族」のネーミングには「家族」のような塊を町の中で作りたいという想いが込められている。

この日は、高齢者を対象にした「お誕生日を祝う会」が初めて開催された。お弁当の配食や、ノーマCafeの生活支援サービス「東郷ささえあい家族」を利用する方々に参加を呼びかけ、7月と8月に誕生日を迎える方のお祝いをする。希望者にはご自宅から片道500円で送迎もする。スタッフの影山幸美さんが高齢者の手を取りながら店内へと案内する。

6人の参加者がそれぞれ初めに自己紹介。最高齢の青木さんは、かつては教師を務め今では81歳になる教え子もいるそう。「今が一番幸せです」と笑顔でご挨拶。続いて特注の米粉のケーキにロウソクを立ててお祝いのする。お祝いの対象となる二人が息を合わせて一緒に「フーツ」。イベントでは地域の音楽ボランティアグループの「ドレミ会」の生演奏で、懐かしの名曲のイントロクイズや伴奏による合唱などで盛り上がる。この日は「東郷ささえ愛家族」サポーターの渡邊さんと小学生の息子さんもお手伝いスタッフとして参加。息子さんは夏休み中に特訓したけん玉の特技を披露する。織田さんの和やかな進行やスタッフの声掛けもあって話が弾み、高齢者がお互いに携帯で写真を撮り



合う姿も。初めての誕生日会は賑やかな盛り上がりを見せ大成功のようだ。

ノーマCEO理事長の織田英嗣さんは、平成18年、40代前半の時に食道がんを患った。大病をきっかけに食生活をはじめ生き方を180度変え、自らの経験を活かしてがん患者の会を立ち上げ講演活動などをしてきた。やがて、ノーマライゼーションの理念のもと、健常者も障がい者も高齢者も隔てなく、支え合い助け合い自立できる地域をつくりたいと考えるようになる。令和元年からは「ささえ愛ステーション」として主に生活支援サービスを行う有償ボランティア活動をスタートし、さらに令和4年10月から事業展開に向けて準備を始めた身元保証や少子終活サポートなど生涯に関わる支援も令和5年9月から加えながら、町民が家族のように助け合えるまちづくり「東郷ささえ愛家族」プロジェクトを展開している。

織田さんは「スタッフの到着を心待ちにして話ができるような温かみのある関係や、支え合いの活動で看取りまでできて、その人にとって最後まで楽しかった記憶が残る人生であれば」と想いを込める。買い物支援のスタッフの渡邊さんは「自分の空いている時間で誰かを助けることができる良い仕組みだ。地域には困っている人が沢山いる。差し伸べる手はいくつもあることが大切」とやりがいを実感しているようだ。

「東郷食守族」では、食を通して家族のような関係づくりを目指す。配達は原則手渡しで行っている。利用する人と信頼関係を作り、少しの変化への気づきや困りごと、生活状況の把握に努めており、行政や関係機関とも連携した見守りの体制を作っている。

この日も、配達用と店頭販売用を合わせて、店内のキッチンではたくさんのお弁当が準備されている。今日のお弁当作りの担当は伊藤薫さん。40、50代の主婦が毎日家族に食べてもらい



たいコンセプトで、契約栽培の旬の野菜をたっぷり使い、お米は県内の特別栽培米コシヒカリ、添加物の少ない調味料にもこだわり、管理栄養士が味と栄養バランスを考えて監修したお弁当だ。旬にこだわり献立予定は作成していない。価格は700円から。誕生日にプレゼントもあげたり、交流を大事にしている。「利用者から、『家庭の味がする』とほめてもらうのが嬉しい」と伊藤さんは話す。

こうして用意されたお弁当を車に積み、午後は一軒一軒のお宅に配達する。配達は、介護福祉士でもある影山さんが担当しおよそ15軒の家を回る。挨拶から会話まで利用者との距離感のないやり取りは本当に家族の関係のようだ。

配食サービスが今は必要ない人でも、時間が経つと自分や家庭の状況が変わってくる。例えば子どもからのサポートがなくなったり、自分自身の体調の変化があったりするとき、そこで影山さんは「普段から種を蒔いておき、人によってタイミングは違うけど、いつか依頼される時が来る」と現場で実感している。

配食を利用した女性は、ケアマネージャーから紹介されたところ、実際にお弁当が美味しかったので続けているそうだ。また男性は、自分の娘さんが食守族の店舗に行ったところ偶然、配食サービスの存在を知った。買い物に行かなくても美味しいものが食べられるのが有難いと喜ぶ。

織田さんは「活動のイメージがいま形になりつつある。利用者の裾野が広がり町内に家族のようなつながりが実現し、東郷町に住んで良かった、と実感してもらえるまちづくりに取り組みたい」と力強く語る。

【連絡先】

特定非営利活動法人ノーマCafe(理事長・織田英嗣さん)
Tel 0561-38-8515